

社会科学習指導案

授業日時 平成30年9月12日(水)第2校時
授業学級 1年D組 男 19名 女 21名 計 40名
授業会場 1年D組 (209) 教室
授業者 _____
指導教員 _____
指導者 _____

1 単元名 「多民族国家アメリカ」

2 単元の目標

ア【社会的事象への関心・意欲・態度】

北アメリカ州を支える民族がグラデーションに富んでいることに気付き、その人々が多民族国家を維持するのに人々がどのような工夫をしているのか意欲的に調べることができる。

イ【社会的な思考・判断・表現】

北アメリカ州を支える人々の様子を知り、その上でその人々の間で発生する課題に対し、どのように課題を解決し多民族と向き合うことができるか自分の解決策を見出すことができる。

ウ【観察・資料活用の技能】

北アメリカ州の自然環境や農業、工業などの特色を資料から読み取ることができる。

エ【社会的事象についての知識・理解】

北アメリカ州の概要やそこに住む人々の状況について理解することができる。

3 単元展開 (全5時間)

学習活動	時間
北アメリカの主な地形や気候をまとめ、自然環境の特徴と人々の生活に繋がりを学んだ。	1
日本との比較からアメリカの農業の特徴と安価に農産物を生産するための工夫を学んだ。	1
アメリカの工業の特徴と経済の中心が重工業から情報技術産業にシフトしたことを学んだ。	1
人種・移民・文化の観点からアメリカ州の多民族国家の課題を把握し、その原因について学んだ。	1
民族問題について、様々な立場で考えることを通して、これからの多民族国家アメリカ州がどうなっていくのか考える。【本時】	1

4 本時の主眼

不法移民を追い出すことは人種差別になるのかと考える場面で、ヨーロッパ系白人、ヒスパニック、黒人、アジア人のそれぞれの立場に着目して多民族国家であることのよさや課題について、資料を読み取ったり、グループの友と意見を発表し合ったりすることを通して、移民はアメリカに欠かせないものであるが、一方で多くの民族問題を抱えていることや、今後アメリカにとってより重要な問題になってくることに気付き、これからのアメリカがどうなっていくかを考えることができる。

5 本時の位置 (全5時間扱い中 第5時)

<前時>人種・移民・文化の観点からアメリカ州の多民族国家の課題を把握し、その原因について学んだ。

6 指導上の留意点

- ・話し合いの際は相手の意見を正悪で判断するのではなく、お互いの意見を尊重できるように留意する。

7 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	支援 (・) と評価	時間
導入	1 導入資料の中の問いから学習問題を設定する。 【全体】	◎人によって問題だと思うかどうかは違うんだね。 ◎移民の中でも損する人もあれば得をする人もいるよね。 ◎移民はアメリカの労働力になっているよね。 ◎どちらが正しいんだろう？ ◎でも不法移民対策をしないといけないから難しいよね。 ◎どうして正しいことをしたのにこの人は批判されてしまったのだろう？	・前回の授業の中で出た「移民に対しての葛藤を感じた」という意見をとりあげることで、移民問題が簡単に解決出来ない問題であることをクラス全体で共有できるようにする。 ・不法移民を取り締まった警官が人種差別に問われたことを取り上げそれについてどう思うか問いかけることで行為の正しさについて疑問をもつことができるようにする。	10
	2 生徒が学習問題に対する予想を立て、学習課題を設定する。 【個人】【全体】	◎人種差別だと訴えているのは損していない人だよな。 ◎立場によって考えが違うからどちらが正しいとはいえないんじゃないかな。 ◎不法移民はどうにかしないとイケないけど、でも人種差別はよくないからよくわからない。難しい。	・予想を立てるのが難しい生徒には「人種差別だと思っているのは誰なのかな」と問うことで、立場によって考えが違うことに気が付くことができるようにする。	5
		学習問題：不法移民を追い出すことは人種差別にあたるのだろうか？		
		学習課題：それぞれの立場から多民族国家のメリット、デメリットについて考えてみよう。		
展開	3 資料を追及し、わかったことをグループで発表し合う。 【個人】【グループ】	◎私はシリコンバレー近くの学生だけど、私は移民に賛成です。なぜなら多くの人々が先端技術産業に関わっているからです。 ◎私はアジア系の高校生だけど、大学の入試で差別があることから、やはりこの国には差別が存在していると思います。シリコンバレーで皆がみんな働けるわけではないと思う。 ◎私はヒスパニック系の不法移民です。家族を養うために不法入国していますが、生きるために仕方ないと思います。だから人種差別というのわからない気がします。 ◎ヒスパニック系の移民にとってもヨーロッパ系の白人の労働者でもどちらも生きるためにお金が必要だからどちらか一方をとることは出来ないと思います。難しい。	・4人で1つのグループを組み、立場の異なる人々の主張を個人で追及したあとに発表することで、それぞれの意見に対して考えをワークシートに書くことができるようにする。 ・意見の対立しやすい人々を同じグループに入れ意見を際立たせることで、関係性の中で問題が発生していることに気付くことができるようにする。	15
	4 わかったことを発表して、学習課題についての答えをまとめる。 【全体】	◎不法移民はどちらにも言えないと思います。彼らにとっては生きるために必要だけど、そのために苦しい思いをしている人もいるのでどちらがいいんだろうと悩みました。 ◎このアジア系の人はアメリカの差別に対して嫌だと思ってます。でもアジア系の学生がシリコンバレーを支えているのでアジア系はプラスになっていると思います。 ◎白人の中でも様々な人がいることに気が付きました。私のグループでは不法移民を追い出すことは差別になるのではないかと思います。なぜならその人が悲しいと思うことが差別につながるからです。	・グループごとに考えたことや感想を発表し合うことで、立場の異なる人々が多民族国家についてどのように感じているか、メリット・デメリットで板書でまとめることで、自分の知らない意見も共有できるようにする。 ・学習カードに記入することが難しい生徒の姿を捉え、「この人は多民族国家についてどう思っているのかな」と問うことで、異なる立場から良さや課題に気づくことができるようにする。	10
		それぞれの立場に着目してアメリカという多民族国家について考えることができたかどうかを発言や学習カードから評価する。		

まとめ	5 単元の学習課題を振り返りカードにまとめ、意見を共有する。 【個人】【全体】	◎アメリカは分離してしまうと思う。 ◎移民は増えるけどその分協力してアメリカは頑張ると思います。 ◎異なる民族を認めることは難しいけど、でも協力してアメリカを保ってゆくのだと思う。 ◎工業技術などもあるから移民はなくならないと思う。	・スライドでこれから移民が増えることに着目し、多民族国家アメリカがこれからどうなるのか問うことで、今までに学んだアメリカの地域的特色をふまえて、自分の考えを述べるができるようにする。	10
-----	--	---	--	----

6 板書計画

学習問題 不法移民を追い出すことは人種差別にあたるのだろ うか 追究 メリット デメリット 予想 ◎人種差別だと訴えているのは損していない人だね。 ◎立場によって考えが違うからどちらとも言えない。 ◎不法移民はどうにかしないといけないけど、でも人種差別はよくないからよくわからない。難しい。 学習課題 それぞれの立場から民族問題について考えてみよう ◎ヒスパニックのメジャーリーガー 「多国籍」 ◎高校生 「差別で迷う」 ◎不法移民 ◎建築労働者の意見 ◎大学生の主張 「シリコンバレー」 多民族国家アメリカはこれからどうなるのだろう	準備するもの ・導入資料（スライド） ・追求資料（A4 プリント一枚） ・学習カード
--	---